

日吉台地下壕保存の会

会 報

第48号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

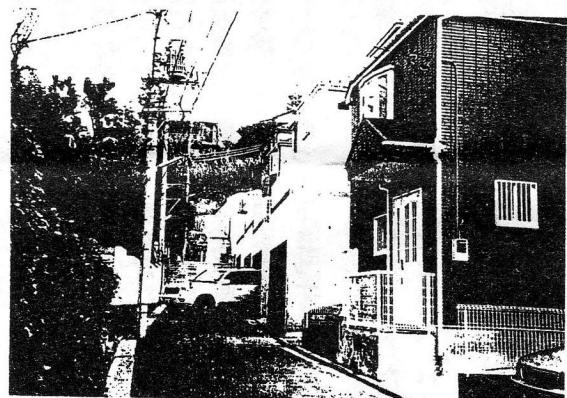
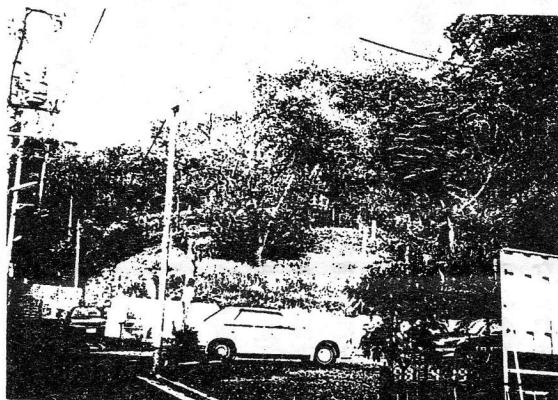
(年会費) 一口千円で、一口以上

郵便振込口座番号00250-2-74921

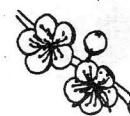
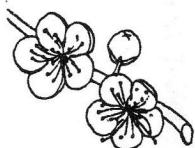
(加入者名)日吉台地下壕保存の会

会計のお問い合わせ：白鶴 邦子 港北区下田町1-4-14 045-563-3760

その他のお問い合わせ：喜田美登里 港北区下田町2-1-33 045-562-0443



慶大寄宿舎北側斜面下に建てられた住宅
上：建築以前 下：建築後



目 次

年頭にあたって
「体験者の話を聞く会」報告
募集します 会員の皆様へ
連載日吉台地下壕
当時の関係者の思い出話

ペー ジ

2
3
3
4 ~ 5

日吉台地下壕の

案内人の一人として

6

戦没学生の記念碑建立 慶應大

7

県立大師高校生の地下壕見学記 7 ~ 8

8

運営委員会報告

年頭にあたつて

会長 寺田貞治

三國志演義 卷之三

日吉台地下壕保存の会も、今年の四月で満一〇年目を迎えます。保存の会が満一〇年という歳月を今日まで曲がりなりにでも続けてこられましたのは、会員の皆様の強いご支援があつたものと、深く感謝するところでございます。

卷之三

文化庁では、近代遺跡の所在について、①鉱業 ②エネルギー産業 ③重工業 ④軽工業 ⑤交通・運輸・通信業 ⑥商業・金融業 ⑦農林水産業 ⑧社会 ⑨政治 ⑩文化 ⑪その他の一一分野に分けて、順次全国調査を実施しております。平成一〇年度は所在調査の第三年度目として、⑨政治 ⑩文化 ⑫その他の三分野について調査を行なうこととしており、横浜市からは、すでに神奈川県に対し報告がなされています。いずれ神奈川県から文化庁に報告がなされます。

日吉台地下壕については、⑨政治の分野で横浜市から報告されたとのことです。報告にあたつて遺跡の評価についてはA、B、Cの三段階にランク付けを行なうとあり、日吉台地下壕は最も高いAランクで報告されていると、神奈川県文化財課から連絡がありました。これは今までの私たちの運動の最大の成果だと思います。ランク付けについては、Aは我が国の近代史を理解する上で欠くことのできない遺跡、Bは各地域の近代史を理解する上で特に重要な遺跡、Cはその他の遺跡、とするとなっています。

今後は、平成一五年度まで二年間調査が行なわれます。日吉台地下壕を中心の文部省、⑩文化省、⑪その他の二つに分けては、平成一三年度に

今後は、平成一五年度までに詳細調査が行なわれます。日吉台地下壕を含む⑨政治、⑩文化、⑪その他については、平成一三年度に対象遺跡の選定、平成一四年度に調査、平成一五年度に報告書作成が行なわれます。私たちも、この報告書に向けて横浜市文化財課と連絡を保ちつつ更なる調査と、行政に対する史跡指定の要請を続けていく必要があります。

ところで現在私は保存の会の会長をやつておるが、この一年間私は体調が良くないこともありますので、会の活動は文として死と何もやつてしまませんでした。しかし、運営委員の皆様がしつかりやつて下さつてるので、なんとかここまで来ることができました。ありがとうございました。

また私は、昨年の四月に永年努めました慶應義塾高等学校を定年退職いたしました。この間、皆様方にいろいろと御迷惑をおかけしましたことが多々あつたことと存じますが、ここに深くお詫び申し上げますとともに、いろいろと御指導、御支援を頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

最後に、日吉台地下壕のますますの発展を願つて、年頭の言葉に代えさせて頂きます。

「体験者との話を聞く会」
報生口

運営委員 龍岡 敦子

日吉台地下壕保存の会の活動の重要な柱のひとつに、調査研究があります。本来、会員あげて取り組むべきなのでですが、なかなか機会がつくれず、寺田会長の努力に負うところが大きかったのが現状です。それでも、これまでに総会において、あるいは「横浜・川崎平和のための戦争展」において、体験者の話を聞く機会を持ちましたが、このたび、日吉全体を、より明確に知るために『聞く会』を企画しました。年も押し迫った二月五日、太平洋戦争開戦日八日の三日前でした。

第一回目として、慶應予科一年で海軍予備学生を志願し、

連合艦隊司令部付き通信班員として一九四五年（昭和20年）1月から終戦（八月十五日）まで日吉で過した土方定彦さんと、軍属として蟹ヶ谷通信隊に勤めていた山室勝司さんのお話を聞きました。参加者は運営委員を中心に、戦争体験の掘り起しをすすめている市民団体のメンバーや教職員の一五名程度でした。会場は大西副会長の尽力で、かつての予科校舎で戦時中海軍に接收されていた現慶應高校の教室です。（正確には戦後の増築部分ですが）

お二人とも、戦場体験ではないものの、無線という手段を通じて、戦艦や特攻隊や前線の部隊と直結しており、肉声ではない故のもつと深く悲痛や無念を感じられたようです。熱を込めて語る内容は、聞く者を圧倒しました。土方

氏は、戦艦大和の最後を語りました。四月七日一時すぎ受

信し、二時半まで、通信は続

いたと。山室氏は具体的な勤務体制等をのべながら、東京海軍通信隊蟹ヶ谷分遣隊の姿を立体的に見せてくれました。

特攻隊からの電波は、突然ブツンと切れるのだと。聞いたのは無線の音だが、それは多くの犠牲者の叫びでした、と。

両氏からは、もっと聞いておかねばならない事があります。事実を語り、事実を受けとめ、共に感じ、そして考える。そして次世代に伝えてゆく。地下壕保存の運動の原点を再確認した一日でした。今後の企画は会員の皆様にお知らせします。是非ご参加ください。

日吉台地下壕、蟹ヶ谷通信隊等、関連施設に勤務していらっしゃる方、近くに住んでいた方、どんな事でも結構です。情報をお待ちしています

★その他、ご意見や感想もお寄せください
連絡先：喜田、白鶴

吉野集します
会員の皆様へ

★運営委員になつてください
保存へむけて様々な活動を
していますが、一人でも多く
の方の智恵と知識と手が必要
です。会の運営・見学案内・
お力を貸してください

★体験者の方、話を聞かせて
ください



連載

日吉台地下壕

当時の関係者の
思い出話 26

蟹ヶ谷通信隊

さきさて 寺田貞治

★Y氏・蟹ヶ谷

昭和一五年に、東京海軍無線電信所蟹ヶ谷受信所が設けられた。所長は福島県の人で志賀光男（故人）といい、また、風見要次郎（故人）という下士官がいた。

私は昭和一八年、二二才の時、横須賀海軍航空学校気象練習生（三期生）として、入学した。

一九年春、第四艦隊基地のトラック島に行き、観測船に乗り、海軍の気象員をしていた。トラック島で敗戦となり、二一年に引揚げてきた。

蟹ヶ谷受信所は、木柱のア

ンテナ塔が下田から蟹ヶ谷まで林立し、蜘蛛の巣のように張りめぐらされたアンテナから、直径三〇もあるケーブルが受信所の建物まで引張られていた。

この木柱のアンテナ塔は、

一六年の開戦後に、受信設備を充実するために建てられ、住民が臨時雇いで木柱を建てる穴を掘つた。車が買上げた畑に野菜ができるまで、もつた覚えがある。受信所の烹炊所は丘の上にあつた。

爆撃を受けて周辺の寺や民

家が焼けた。蟹ヶ谷の高林山専念寺の住職・伊藤文雄氏によると、寺は全て焼夷弾で焼けた。荷車二台分の焼夷弾が落ち、近くの遠藤家が二軒焼け、丘の上の鉄塔も一部焼けたという。

地下壕は、避難所として、素掘りの壕が丘の中腹から受

信所の方に掘つてあつた。蟹

ヶ谷の西の丘の斜面に、受信

設備が設けられたコンクリー

トの地下壕があつた。戦後、

ここで自殺したり、シンナー

を吸つたりした人がいて問題

になつた。

二一年一月～二二年末迄、

この蟹ヶ谷通信隊の兵舎を借りて、慶應の獸医畜産専門学校が開校していたが、火事が

あり他に移転し、現在は運輸省の宿舎になつてゐる。

★M1氏・久末

平成元年、敷の中に二億円

が捨てられていた騒ぎがあつ

た近くに我が家がある。敷と

は反対側の山の斜面にコンクリートの地下壕が残つてゐる。

斜面の下に出口のコンク

リートが三本東側に六～七畠ほど出でて、長さ五〇畠の南北のトンネルとつながつて

穴が三つあつた。

壕は一九年春から秋にかけ、

海軍工廠施設部の人が掘つて

いた。かなり手際よく穴を掘

り、コンクリートを打つてい

たので、専門の人人がやつてい

たようだ。

壕には無線機など入れて事

務を執つていた。三〇位の太

さのケーブル線を丘の上のア

ンテナから引いていた。

アンテナの木柱は、久末の

丘（蟹ヶ谷の西の丘）の上に

も沢山建つてゐた。戦争が負

けるにつれ、木柱を次第に取

払つていった。

通信隊員はかなりいた。丘

の上の施設には特攻隊志願の

人が、乗る飛行機がなく蟹ヶ

谷に配属されて來ていた。ま

た、捕虜も沢山來ており、日

本兵と一緒に体操したり、野

菜を作つたりしてゐた。

通信隊の兵士が外国放送を

聞いて、「日本は負けるとい

つてはいる」と喋っていた。

戦時中、地下壕の話をすると
ことは出来なかつた。

兵士が野菜を作るため農作業などの道具を借りにきた。
「お腹が空いた」といつてき
たこともあり、夕食などをあげた。海軍で配給されたもの
を持ってくれたこともあ
る。通信隊の残飯を貰つて豚
を飼つていた。

設営隊は谷戸の奥に小屋を
建てて住んでいた。戦後、こ
の建物は土地の有力者が持つ
ていった。焼け出された人を
住まわせてあげればと思つた。
その他、セメント・鉄筋など、
いろいろなものがあつたが、
住民が盗みにきてみんな持つ
ていった。通信隊のケーブル
線も、みんな勝手に掘つて持
つていつた。ケーブル線を掘
るためにスコップや鍬などを
貸してあげたので、分け前を

貰つたのではないかと疑われ、
主人が警察に引張られたこと
もあつた。

海軍の主計将校などは、食糧を一杯持つていつた。また、
真空管をトラック一杯持つて
いつた軍人もいた。

戦後、間もなく、進駐軍が
きて、トランクなどを運んで
いつた。進駐軍の軍人は質が
悪く怖かつた。最初やつて來
たのは工作隊であつた。住民
に酒の配給のある時を狙つて
やつてきて「酒を出せ」と言
つていいじめた。子供にはチュー
ーインガムなどをくれたこと
があつた。

進駐軍は、銃を構えて立つ
てた。「パンパン」と言つて
近づいてきたので、「ありが
とう」と言えればいいだろうと、
「サンキュー」と言つて帰つ
てきたが、あとでパンパンの
意味を聞いて驚いたことがあ

つた。娘を外に連れ出すのは
危険であつた。進駐軍は一年
位いた。

戦中、海軍に買上げられた
土地は戦後返還された。海軍
が借りた小作人の土地は地主
に返されたため、小作人は困
つた。社会党の人々に世話にな
つた人が多かつたが、世の中
が落着いてくると自民党に変
つていつた。

★M2氏・久末

地下壕はツルハシとスコッ
プで掘つていた。掘り出した
土はトロツコで運んでいた。
丘の中腹を垂直に切つて、コ
ンクリートで固め、その上に
土をかぶせて完成させた。セ
メントなどは、丘の上から斜
面に板を敷いて下ろしていた。

米軍が来て、通信機などを
大きな箱に入れてトラックで
運び出していた。米軍は通信
所の警備にきていた。戦後で、
泥棒・強盗などが多かつたこ
ともあるが、米兵がやたらに
銃を撃つて危なくて仕方がな
かつた。

下壕は幅四～五田、高さ三田
長さ十数田である。南北の地

位、長さ五〇田弱である。

真中の地下壕にはモーター

が、南の地下壕にはタンクが
あつた。奥の南北の地下壕に
は、無線機やバッテリーが、
壁際にぎっしり並んでいた。

床には溝が掘つてあり、ケー
ブル線が幾つも通つていて、
木の蓋がしてあつた。通信隊

はここで仕事をしていた。戦

後、まだ米軍が進駐してこず、
海軍が警備していた時に地下
壕の中を見せて貰つたが、設
備はまだそのままになつてい
た。

米軍が来て、通信機などを
大きな箱に入れてトラックで
運び出していた。米軍は通信
所の警備にきていた。戦後で、
泥棒・強盗などが多かつたこ
ともあるが、米兵がやたらに
銃を撃つて危なくて仕方がな
かつた。

(生協ニュース教職員版第四

日吉口ムロ地下壕の 案内人の 一人として

運営委員 喜田 美登里

一二月二二日(土)に保存の会としては久しぶりに日吉台地下壕の見学会を行ないました。会報で報告されている体は毎月欠かさずあり、この所「平和のための戦争展」のプレイベント以外には保存の会が呼びかけた見学会はありませんでした。「平和のための戦争展よこはま」、「平和のための戦争展かながわ」を含めて三つの展示会に関わり、沖縄で「第二回戦争遺跡保存全国シンポジウム」があり、と、一年の前半が慌ただしく過ぎていきましたが、年の締めくくりに一二月五日の「体

験者の話を聞く会」と、この見学会ができるよかつたと思います。これからは会報でお知らせできるよう早目に計画したいものです。

一二日の参加者は二十五名、川崎平和館の近くの西加賀町会、「戦争体験掘り起こしの会」、中学校の先生等。案内役は四名で交代しながら説明していきます。何で四人もいるのでしょうか?

保存の会ができてから一〇年、寺田会長がずっと案内役を続けていますが、ガイドができる人をもっと増やしていくこうと、一昨年の夏に見学コースの案内マニュアルも作ってみたのです。今までに戦争展のプレイベントの時等に数回、この複数のガイドを試しています。私もメンバーに入っているのですが、人に説明することの難しさを感じ

ています。マニュアルに基づいた説明といつても、自分の中で整理されていないと言葉づぶん変わり、地下壕の入出しが多いのですね。私は見学会には出来るだけ参加するようにしています。(何度も歩いてみよう!)それに、見学にこられた方たちとの交流は楽しみですし、保存運動のこれからについて沢山のピントを貢えますから。戦争遺跡から学ぼうとする人達がこんなにいると心強く思います。

黄葉もそろそろ終わりの銀杏並木を通り、白亜の高校の前を通り過ぎ道路に出て、地下壕たて穴へ見学コースを行くと、東のある半島は南はマンション、北側は六軒の住宅が建てられ、両側から身を削られています。

この五〇年、地下施設だから無事に残されていたこの歴史の証人、地下壕も、山をも

削られる開発にあつては大変。斜面の緑がなくなつて景色もすいぶん変わり、地下壕の入り口もまったくむき出しの感じになつてしましました。地下壕の案内人としては、もう一度以上何もしないで、そつと見学に出てと祈るばかりです。

案内の上達が急がれます。何人がで案内することはいろいろと話し合ひができる、とてもいいことだと思つてゐるのです。それぞれ忙しい中で保存の会の活動をしていると事務的なやりとりで終わりがちなので、案内という緊張感をもつたチームプレイで補えるようにも思えます。一二日の案内は参加者の皆さんに満足して戴けたでしょうか?





というビデオがすごく重かった。僕たちに何が出来るか考えてみるけど募金くらいしかないのかな?とか思う。これからの生活をちょっとと見直すべきかもしない。わがままは余り言えないなと思った。

地球は一つなのに、二つの世界があつた。一本のボトルの水で何人かが救えると考えると贅沢しそぎだと思つた。

お金があるからといって食糧をあげたりしても何も変わらない。畑を作つたり、食糧になるものの種とかを配つて、一緒に作つたり、きれいな水が飲めるように井戸を作つたり、お金をうまく使って交流を深め、協力していくしかないとthoughtた。

た。僕たちに何が出来るか考えてみるけど募金くらいしかないのかな?とか思う。これからの生活をちょっとと見直すべきかもしない。わがままは余り言えないなと思った。

地球は一つなのに、二つの世界があつた。一本のボトルの水で何人かが救えると考えると贅沢しそぎだと思つた。

連続田禾女口町、△云報生口
一〇月一一日一八時半

連続田禾女口町、△云報生口
一〇月一一日一八時半
フードギヤラリー

問の予定
連続田禾女口町、△云報生口
一〇月二九日文化財課を訪ね
一〇月二九日文化財課を訪ね

第四回
九月二十四日一九時

フードギヤラリー
会報発送の作業後に行なう

一、九月二九日県立大師高校
課外授業による見学会二十五名

一、横浜市文化財課訪問(寺
田、白鶴、亀岡、喜田)小西
課長より日吉台地下壕は県の
リストに記載されていることを確認

第一回
九月二四日一九時

報告

二、一〇月三日川崎市教職員
組合による見学会

三、同一七日同、計五〇名参
加

議題

四、同一三~一八日「平和の
ための戦争展かながわ」参加

五、九月一二日長野生協によ
る見学会

議題

六、同一四日「TBSおはよ
うクジラ」地下壕紹介

議題

七、同一四日地下壕紹介

議題

八、同一四日地下壕紹介

議題

九、同一四日地下壕紹介

議題

十、同一四日地下壕紹介

議題

十一、同一四日地下壕紹介

議題

十二、同一四日地下壕紹介

議題

十三、同一四日地下壕紹介

議題

十四、同一四日地下壕紹介

議題

十五、同一四日地下壕紹介

議題

十六、同一四日地下壕紹介

議題

十七、同一四日地下壕紹介

議題

十八、同一四日地下壕紹介

議題

十九、同一四日地下壕紹介

議題

二十、同一四日地下壕紹介

議題

二十一、同一四日地下壕紹介

議題

二十二、同一四日地下壕紹介

議題

二十三、同一四日地下壕紹介

議題

二十四、同一四日地下壕紹介

議題

二十五、同一四日地下壕紹介

議題

二十六、同一四日地下壕紹介

議題

二十七、同一四日地下壕紹介

議題

二十八、同一四日地下壕紹介

議題

二十九、同一四日地下壕紹介

議題

三十、同一四日地下壕紹介

議題

三十一、同一四日地下壕紹介

議題

三十二、同一四日地下壕紹介

議題

三十三、同一四日地下壕紹介

議題

三十四、同一四日地下壕紹介

議題

三十五、同一四日地下壕紹介

議題

三十六、同一四日地下壕紹介

議題

三十七、同一四日地下壕紹介

議題

三十八、同一四日地下壕紹介

議題

三十九、同一四日地下壕紹介

議題

四十、同一四日地下壕紹介

議題

四十一、同一四日地下壕紹介

議題

四十二、同一四日地下壕紹介

議題

四十三、同一四日地下壕紹介

議題

四十四、同一四日地下壕紹介

議題

四十五、同一四日地下壕紹介

議題

四十六、同一四日地下壕紹介

議題

四十七、同一四日地下壕紹介

議題

四十八、同一四日地下壕紹介

議題

四十九、同一四日地下壕紹介

議題

五十、同一四日地下壕紹介

議題

五十一、同一四日地下壕紹介

議題

五十二、同一四日地下壕紹介

議題

五十三、同一四日地下壕紹介

議題

五十四、同一四日地下壕紹介

議題

五十五、同一四日地下壕紹介

議題

五十六、同一四日地下壕紹介

議題

五十七、同一四日地下壕紹介

議題

五十八、同一四日地下壕紹介

議題

五十九、同一四日地下壕紹介

議題

六十、同一四日地下壕紹介

議題

六十一、同一四日地下壕紹介

議題

六十二、同一四日地下壕紹介

議題

六十三、同一四日地下壕紹介

議題

六十四、同一四日地下壕紹介

議題

六十五、同一四日地下壕紹介

議題

六十六、同一四日地下壕紹介

議題

六十七、同一四日地下壕紹介

議題

六十八、同一四日地下壕紹介

議題

六十九、同一四日地下壕紹介

議題

七十、同一四日地下壕紹介

議題

七十一、同一四日地下壕紹介

議題

七十二、同一四日地下壕紹介

議題

七十三、同一四日地下壕紹介

議題

七十四、同一四日地下壕紹介

議題

七十五、同一四日地下壕紹介

議題

七十六、同一四日地下壕紹介

議題

七十七、同一四日地下壕紹介

議題

七十八、同一四日地下壕紹介

議題

七十九、同一四日地下壕紹介

議題

八十、同一四日地下壕紹介

議題

八十一、同一四日地下壕紹介

議題

八十二、同一四日地下壕紹介

議題

八十三、同一四日地下壕紹介

議題

八十四、同一四日地下壕紹介

議題

八十五、同一四日地下壕紹介

議題

八十六、同一四日地下壕紹介

議題

八十七、同一四日地下壕紹介

議題

八十八、同一四日地下壕紹介

議題

八十九、同一四日地下壕紹介

議題

九十、同一四日地下壕紹介

議題

九十一、同一四日地下壕紹介

議題

九十二、同一四日地下壕紹介

議題

九十三、同一四日地下壕紹介

議題

九十四、同一四日地下壕紹介

議題

九十五、同一四日地下壕紹介

議題

九十六、同一四日地下壕紹介

議題

九十七、同一四日地下壕紹介

議題

九十八、同一四日地下壕紹介

議題

九十九、同一四日地下壕紹介

議題

一百、同一四日地下壕紹介

議題

一百一、同一四日地下壕紹介

議題

一百二、同一四日地下壕紹介

議題

一百三、同一四日地下壕紹介

議題

一百四、同一四日地下壕紹介

議題

一百五、同一四日地下壕紹介

議題

一百六、同一四日地下壕紹介

議題

一百七、同一四日地下壕紹介

議題

一百八、同一四日地下壕紹介

議題

一百九、同一四日地下壕紹介

議題

一百十、同一四日地下壕紹介

議題

一百十一、同一四日地下壕紹介

議題

一百十二、同一四日地下壕紹介

議題

一百十三、同一四日地下壕紹介

議題

一百十四、同一四日地下壕紹介

議題

一百十五、同一四日地下壕紹介

議題

一百十六、同一四日地下壕紹介

議題

一百十七、同一四日地下壕紹介

議題

一百十八、同一四日地下壕紹介

議題

一百十九、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十一、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十二、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十三、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十四、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十五、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十六、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十七、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十八、同一四日地下壕紹介

議題

一百二十九、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十一、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十二、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十三、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十四、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十五、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十六、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十七、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十八、同一四日地下壕紹介

議題

一百三十九、同一四日地下壕紹介

議題

一百四十、同一四日地下壕紹介

議題

一百四十一、同一四日地下壕紹介

議題

一百四十二、同一四日地下壕紹介

議題